

Q&A ロータリーの友

皆さまから寄せられるロータリーの雑誌に関する質問はさまざまです。今日は、そんな皆さまの疑問にお答えします。

いつ創刊したのですか。

1953年1月に創刊しました。その前年、1952年7月、戦後1地区だった日本のロータリーが東西2地区に分割されました。地区が分かれても、それまで一緒に活動してきた仲間同士、これからもつながってほしいという思いが、当時のロータリアンたちにあったのでしょう。両地区の懸け橋として『ロータリーの友』が誕生しました。『友』は、日本のロータリアンの絆の証しなのです。

横組みと縦組みがあるのはなぜですか。どのように記事を分けているのですか。

『ロータリーの友』が創刊するに当たって、いろいろなことが話し合われ決められました。その一つが、この雑誌をすべて横組みで編集するということです。

これは、全ロータリアンに対するアンケートの結果、決まったことです。『友』について決められたのが創刊の前年ですから、当時の状況を考えると、横組みというのはいぶん画期的なことだったのではないかと推察されます。

どれだけ珍しかったかを証明する一つの手がかりが『友』に残っています。それは長音、つまり「ロータリー」と書く場合の「ー」の文字ですが、これがすべて上下が逆になっているということです。縦組みに使われている長音をよく観察するとわかるのですが、当時の『友』に使われていた長音は縦組み用のものだったのです。このことから、当時の『友』は、横組みにもかかわらず縦組み用の活字が使われていたことがわかります。おそらく、横組み用の活字がなかったか、あっても数が少なくて使うことができなかったのだらうと考えられます。

そうして横組みだけで始まった『友』ですが、「俳壇・歌壇」など横組みでは入れられないページが登場し、それらを縦組みで入れるようになりました。その後、「卓話の泉」、「談話室（現ロータリー・アット・ワーク文章編）」など、少しずつ縦組みで入れる記事が増えてきて、それらを巻末に入れていました。それならと、反対側にも表紙をつけたのが、現在の両方が表紙という珍しい雑誌の始まりです。

それぞれにどのような記事を入れるのか、始めはきちんと仕分けされていなかったようですが、少しずつ整理されてきました。横組みには、例えば国際ロータリー(RI)からの情報、ロータリー特別月間に関する特集といったロータリー地域雑誌としての公式な情報を掲載しています。RIの動きや情報を知ることができ、それらについて日本のロータリークラブがどのように取り組んでいるのか、といった記事も掲載しています。

縦組みは、創刊同時のロータリアンの思いを継承するものです。どのようなクラブがあって、どのような活動をしていて、どのようなロータリアンがいて、どのようなことを考えているのか、日本国内の仲間同士の交流の場です。従って、投稿が中心となっています。

「RI指定記事」って何ですか。

『ロータリーの友』は、ロータリー地域雑誌に指定されています。そのために従わなければいけない規則が幾つかありますが、その一つが『The Rotarian』から、指定された記事を転載するというもので、それが「RI指定記事」です。RI会長や財団管理委員長のメッセージ、毎年8月号に掲載する「ロータリーの基本知識」、11月号、2月号、5月号に掲載している「GLOBAL OUTLOOK」がその代表的な記事です。

外国の記事はあまり興味がないと言われる方も多いようですが、全世界のロータリアンが情報を共有した方がよいと思われる記事が指定されていますので、ぜひご一読ください。「自分たちのクラブはどうだろうか」とか、「こんなに離れた所にも仲間がいる」と思いながら読むと、身近に感じることでできるようになるでしょう。

『The Rotarian』編集部は、アメリカ・イリノイ州エバンストンにあるRI世界本部にあります。この雑誌がRIの機関誌です。ロータリアンは、『The Rotarian』か、指定されたロータリー地域雑誌（日本の場合は、『ロータリーの友』）を購読することが義務付けられています。

ちなみに『The Rotarian』の編集長は、John Rezek。蝶ネクタイが似合う、ユニークで親しみやすい印象の、陽気なアメリカ人です。

投稿をしたいのですが。

『ロータリーの友』の投稿欄はいくつかありますが、すべて縦組みにあります。それぞれに簡単な投稿規程を入れてありますので、ご確認のうえ、ご投稿ください。詳細は、数か月に1回程度、横組みのあとの方のページに掲載しています。また、『ロータリージャパン(www.rotary.or.jp)』にも掲載しています。

できるだけ多くの投稿を掲載したいと考えていますので、字数制限は必ずお守りください。また、活動報告については、活動後1か月以内にお送りください。

記念撮影、集合写真は、写っている中に知った人がいなければ興味が持てないものです。従って『友』誌では掲載していません。必ず活動の様子のわかる写真を送ってください。

投稿は、すべて『友』編集部宛てにお送りください。郵送、メールどちらでも結構です。住所とメールアドレスは、縦組み、横組みの目次に掲載してあります。

なかなか掲載されないのですが。

ロータリー活動は時期によって多い、少ないがあります。従って、投稿数にも変動があります。できるだけ早く掲載したいと考えていますが、投稿数が多い時期には掲載までにかかなりお待ちいただくこともあります。

また、欄を指定して投稿された場合でも違う欄に掲載することがあります。例えば、「ロータリー・アット・ワーク」に投稿された記事を「友愛の広場」に載せるといったケースがあります。さらに、横組みの月間特集の記事としてふさわしいと判断した場合は、投稿記事でも横組みに掲載します。

投稿された場合は、いろいろな欄をチェックしてください。「まだ載らないのですが」という問い合わせの電話をいただき調べてみると、すでに掲載していたというケースも結構ありました。

しかし、残念ながらすべての記事を掲載しているわけではありません。活動日からかなりの時間が経過して送られてきた原稿は、掲載できません。記念撮影も、原則として掲載できません。制限字数をはるかにオーバーして短くすることのできない原稿や、掲載するのに適した欄がない原稿も掲載できません。

一部の地区や地域、クラブ、ロータリアンに限られますが、極端に多くの投稿をいただくことがあります。これらの場合は、いい内容であっても掲載できないことがあります。できるだけ多くの地区、多くのクラブ、多くのロータリアンに参加していただくためです。ご理解いただきますようお願いいたします。



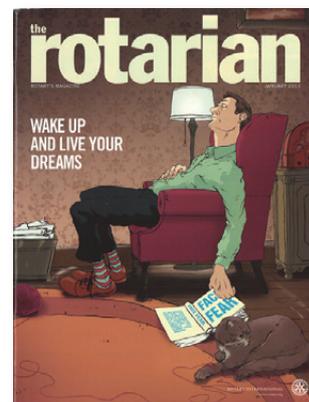
創刊号



横組み、縦組み両表紙になった1972年1月号



「RI 指定記事」にはロゴが入っています。



『The Rotarian』